

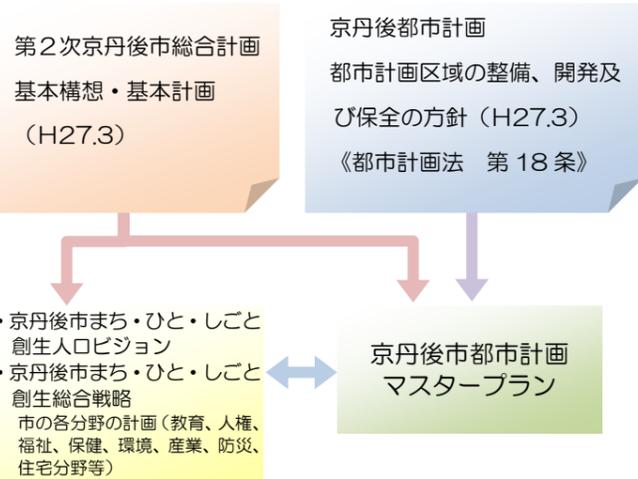
I. 都市計画マスタープランの目的・位置づけ

1. 都市計画マスタープラン策定の目的

京丹後市都市計画マスタープランは、都市計画区域内における将来のまちの姿と、その実現のための具体的な整備方策を明らかにするとともに、都市計画区域外への波及効果も想定しながら、市全体の活性化につなげていくことを目的としています

2. 都市計画マスタープランの位置づけと枠組み

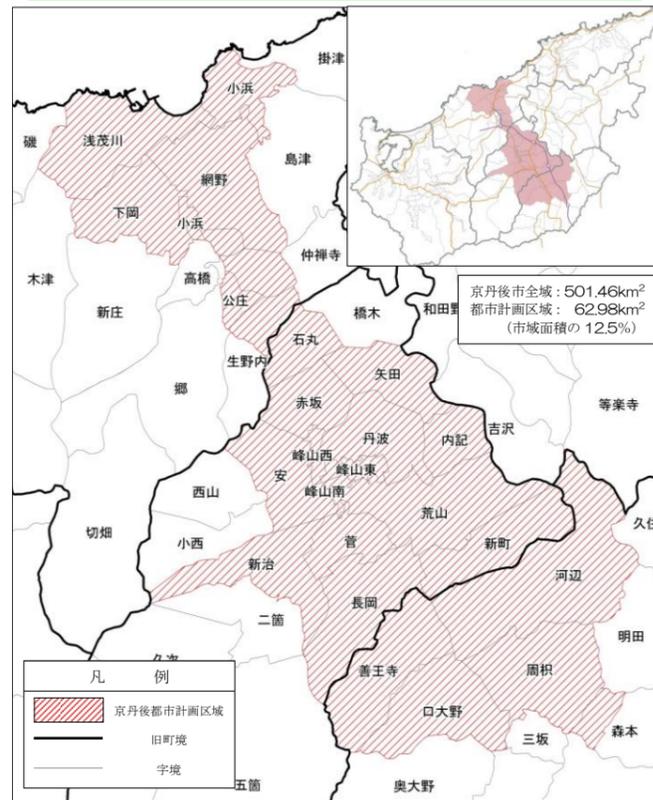
■ 都市計画マスタープランの位置づけ



■ 計画の期間

おおむね20年先を見通しながら、「第2次京丹後市総合計画」の目標年次と同じ平成36年度とします。また、おおむね5年後を目途に必要なに応じて見直しを行います

■ 京丹後市都市計画マスタープランの枠組み



II. 社会の状況と市の概況

1. 京丹後市をとりまく社会の潮流

- ・ 少子高齢化・人口減少の進展
- ・ 一億総活躍社会の実現
- ・ 自然災害に対する備え
- ・ 観光交流やインバウンドへの対応
- ・ 自然環境保全・循環型社会の実現
- ・ 協働・参画型社会の構築

2. 京丹後市の概況

- 人口の状況
市の人口が年平均で約660人程度減少
- 産業の状況
市内の事業所数が約10年前から2割以上減少
- 歴史・文化の状況
歴史遺産・伝承が多く。観光資源に恵まれている

III. 都市計画マスタープランの目標

1. 都市計画マスタープランの目標

都市計画マスタープランは、土地利用計画と都市施設の整備により、人口減少の克服、定住や交流の促進、更には市民総活躍社会の基盤を創ることを目的としています

■ 都市将来像

人と経済・文化が交流する 活力あふれる北近畿の拠点都市

■ 将来人口フレーム

「第2次京丹後市総合計画」における
市全体の将来人口フレーム
活力人口 56,000~66,000人
定住人口 50,000~60,000人
交流人口 6,000人/日



「京丹後市都市計画マスタープラン」における
都市計画区域内の将来人口フレーム
活力人口 26,000~30,000人
定住人口 23,000~27,000人
交流人口 3,000人/日

2. 目標の実現に向けた4つの視点

まちづくりの重要課題である「人口減少の克服」、「定住・交流の促進」、「市民総活躍社会の基盤創り」の克服に向けて、総合計画及び「京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策理念に沿った4つの視点をもって取り組みを進めます

1. しごとの基盤づくり

若い世代のしごとや生活への夢が叶えられる「まち」を目指します

3. 暮らしの基盤づくり

子育て世代やお年寄りなど、世代を問わずだれもが包摂され、いきいきと快適に暮らせる「まち」を目指します

2. 交流の基盤づくり

人と人が交流し、笑顔があふれる「まち」を目指します

4. 安全・安心の基盤づくり

だれもが安全で安心して生活できる「まち」を目指します

3. 将来都市構造のあり方

《都市構造》山陰近畿自動車道や国道312号など、本市の南北軸となる主要な道路とその沿道、また、駅周辺を基本として、「軸・ゾーン・拠点」を設定し、土地利用計画と都市基盤整備を進め、公共交通ネットワークの充実による、多極ネットワーク型のまちづくりを進めます

1. 【軸】

広域連携軸
山陰近畿自動車道
地域連携軸
国道178号、312号、482号や主要な府道、路線バスや鉄道などの公共交通ネットワーク

2. 【ゾーン】

都市活動ゾーン
峰山町、網野町及び大宮町の中心市街地、国道312号と482号が交わる市街地付近
保全・共生ゾーン
都市活動ゾーンをとりまく水辺やみどりの空間

3. 【拠点】

都市拠点
国道312号と482号の交差点付近。
地域拠点
市内各町の行政施設を核とした市街地周辺

IV. まちづくりの基本方針

1. 広域幹線道路や鉄道などの整備効果を活かし、人と経済・文化の交流を促進させる（軸の形成）

①山陰近畿自動車道による広域道路ネットワークの強化

京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道につながる山陰近畿自動車道の早期整備を促進します。また、都市拠点の将来像を見据えた新たな市の玄関口として、(仮称)大宮峰山ICアクセス道路の整備を推進するほか、(仮称)峰山弥栄ICアクセス道路や網野インター線の整備を推進し、地域の商業・交流活動の活性化を図ります。

- 広域連携機能となる山陰近畿自動車道の早期整備
- 日本海側国土軸となる山陰近畿自動車道の早期全線事業化
- 都市拠点構想に即したICアクセス道路計画
- 2車線区間となる山陰近畿自動車道の速度低下対策

②地域内道路ネットワークの強化

地域資源を活かした個性ある都市、自然や歴史にふれられる都市を目指し、自然や文化、また、観光拠点へつながる道路の整備を推進するほか、幹線道路の渋滞緩和及び生活道路における良好な環境の保全を踏まえた都市計画道路の見直しを行います。

- 京丹後大宮ICの供用を踏まえた国道312号の渋滞緩和対策
- 主要地方道網野峰山線のリダンダンシー（代替性）確保
- 都市交通の発展と歩行者の安全確保などを踏まえた都市計画道路の整備

③公共交通の利便性の向上

京丹後鉄道や路線バスなどの公共交通は、京丹後市の活性化に向けた大動脈として利便性の向上に努め、市民の利用はもとより観光客の利用増を図ります。また、便利な公共交通により、さまざまな日常生活における移動支援を行い、スムーズな通院、通学、買い物、観光等の目的が達成できるよう推進するほか、駅舎を活かし、人が集まる多機能施設への転換を図るなど、駅の機能強化を進めます。

- 鉄道を基軸とした地域の活性化に結びつく公共交通ネットワークの構築
- 交通弱者である高齢者等への買物・通院難民対策としての取組み
- 都市機能の集積効果を高める駅やバスターミナルの整備

2. 職住近接の利便性の高い都市環境を築くとともに、人と水とみどりの共生する環境を実現させる（ゾーンの形成）

①用途地域の指定などによる地域活性化

国道312号と国道482号が交わる市街地付近の商業機能の集積と、旧町市街地での行政サービスの効率化や利便性の向上を推進するため、商業系用途地域の指定を行います。また、既存の工業団地においては、産業機能の維持強化と企業誘致の推進に向け、工業系用途地域の指定を行います。住宅地としての市街化が進む地域については、住宅や工場などの混在による住環境の悪化を未然に防ぐため、住居系用途地域の指定の適否についての検討、また、既存市街地においては、基幹産業の工場と住宅が混在している現状を踏まえ、特別用途制限地域などについて検討します。

- 駅周辺の活性化と、国道沿道での商業集積の誘導
- 産業振興を通じた地域雇用の維持と拡大の推進
- 住宅化が進む地域における居住環境の悪化を未然に防ぐ
- 行政サービスの効率化、利便性の向上
- 既存市街地における工業機能と居住地の共生

②魅力的な都市景観の形成と自然環境の保全・共生

景観法などを活用した景観誘導の取組を促進するとともに、京丹後らしい良好な景観や各地の特徴あるデザインと様式の保全を図ります。さらに、過去より受け継がれてきた美しい自然環境及び公益機能をもつ農山村環境の未来への継承、美しい海岸の保持と良好な景観の維持のため、環境保全の多様な取組みを推進するとともに、水辺やみどりの空間とふれあえる環境づくりを進めます。

- 古代丹後の輝かしい歴史・文化資産の保全と活用
- 旧来のまちなみを活用した新たな観光の拠点づくり
- 都市景観の形成によるまちの魅力の創出
- 優れた自然環境の保全と共生

③公園・緑地等の整備による生活環境の向上

市民の憩いやスポーツ活動など日常的な利用に対応した、ゆとりある都市公園の充実を図るとともに、海岸や森林など京丹後市ならではの豊かな自然環境や歴史資源などにふれることのできる個性ある公園の整備を図ります。また、スポーツイベントを通じた市内経済の好循環を第一に、地域内、他地域の人々との交流が活発化し、年間を通じて地域のにぎわいや活性化が図られるまちづくりを目指し、地域ぐるみによる多様な企画の実施や、その展開に向けた環境整備、体制整備に取り組みます。

- 都市公園の利便性を高める新たな機能整備
- 快適で憩いのある生活空間の形成
- 網野桃子山古墳の史跡を活かした取組み

④うるおいのある住環境の整備

多様な住宅ニーズに対応した良好な住環境を確保します。また、住宅の安全性や耐震性を向上させるとともに、道路、下水道等の整備を推進し、さらに、公共施設におけるユニバーサルデザインの採用など、快適に暮らせる生活空間の形成を図ります。

- 下水道事業等の推進による河川や水路の水質保全及び住環境の改善
- 公営住宅の老朽化による集約や計画的な建替
- ユニバーサルデザインに配慮した歩行者ネットワークの構築

⑤安全安心なまちに向けた防災基盤や都市施設の整備による都市機能の向上

市民が安心して暮らすことができるよう災害に強いまちを目指すとともに、地域防災計画に基づき、地域における消防・防災体制・救急体制の充実及び施設整備を推進します。また、土地利用を踏まえた土砂災害や浸水被害対策の検討を行います。

- 防災基盤の整備による災害に強いまちの構築
- 内水対策事業の早期完了と事業者や住民による自助の取組み
- 災害時や緊急時における、ヘリコプターの場外離着陸場の確保

3. 広域連携・交流の拠点を整備するとともに、市民生活を支える地域振興機能を充実させる（拠点の形成）

①国道312号と国道482号沿いにおける商業・交流機能の向上（都市拠点）

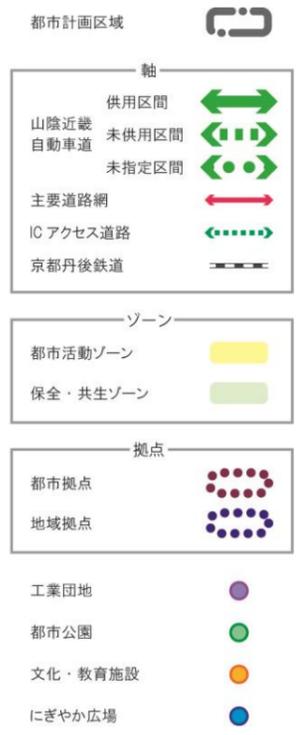
国道312号と国道482号沿いにおいては、商業系用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、商業系用途地域外への無秩序な機能の拡散やそれに伴う地域環境の悪化などの防止に努めます。また、駅を起点とした都市基盤整備を推進し、車社会から公共交通を中心とした環境社会への転換を目指した良好な都市環境の整備を図るほか、広域交通網の玄関口機能を有する(仮称)大宮峰山ICアクセス道路の整備を推進し、商業・交流機能の発展を図りながら、新都市拠点としてふさわしい都市機能の誘導を図ります。

- だれでも立ち寄り、市内情報が得られる拠点づくり
- 文化、芸術活動による交流を促す拠点づくり
- 都市のにぎわいとゆとりを創出する拠点づくり

②駅と市街地における観光・交流機能の向上（地域拠点）

各町の市街地を形成する地区は、その周辺の発展を先導し、地域に適したサービスを提供する地域拠点として位置付け、地域振興機能を充実させるとともに、空き店舗等の利活用による特徴的な商店街づくりなどを推進し、高齢者・買い物弱者への対策、また、コミュニティ拠点としての活性化を図ります。また、駅と観光資源と連携させ、京丹後らしい観光地としての魅力を磨くことで、年間を通じた観光誘客を促進し、交流人口の増加による地域の持続的な発展を目指すとともに、山陰近畿自動車道からのアクセス道路を活かした、商業・交流基盤の向上による地域活性化を図ります。

- 駅の機能向上と合わせた周辺整備と施設の段差解消
- 駅周辺から観光資源への周遊を促す取組み

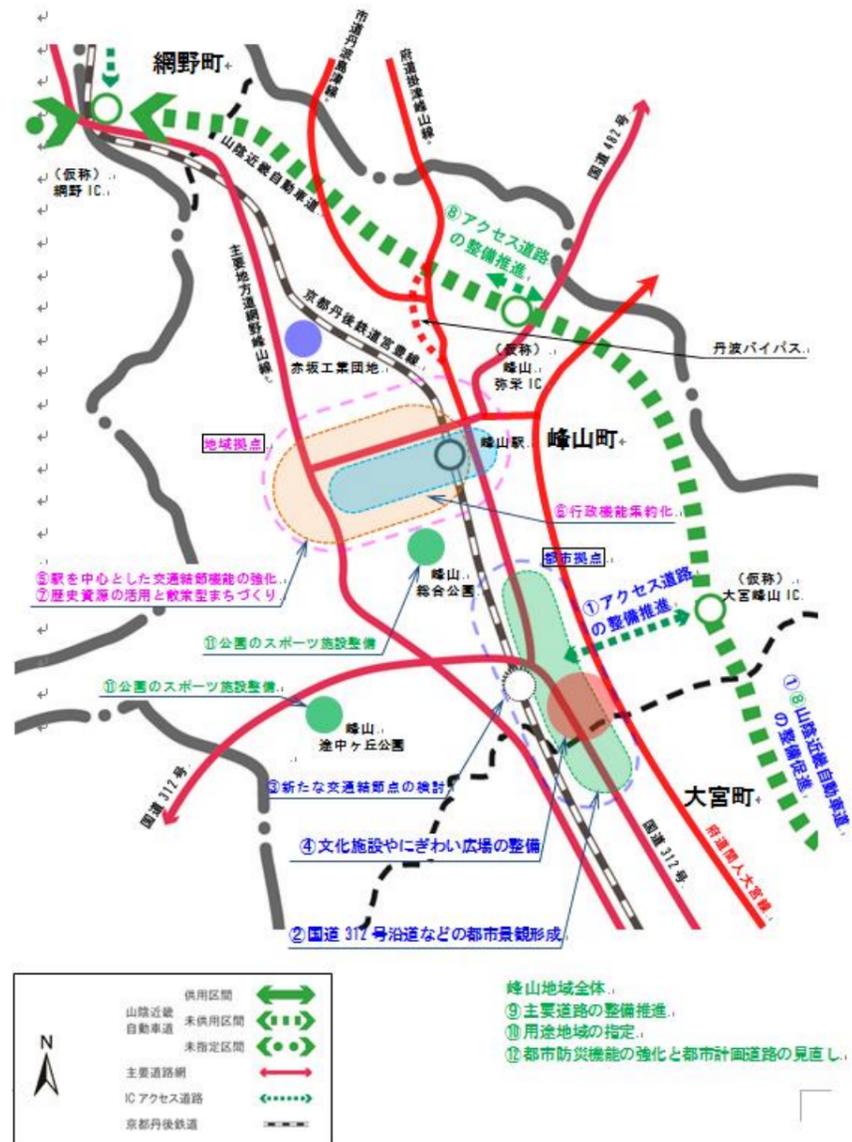


V. 地域別都市整備方針

1. 峰山地域

都市整備方針

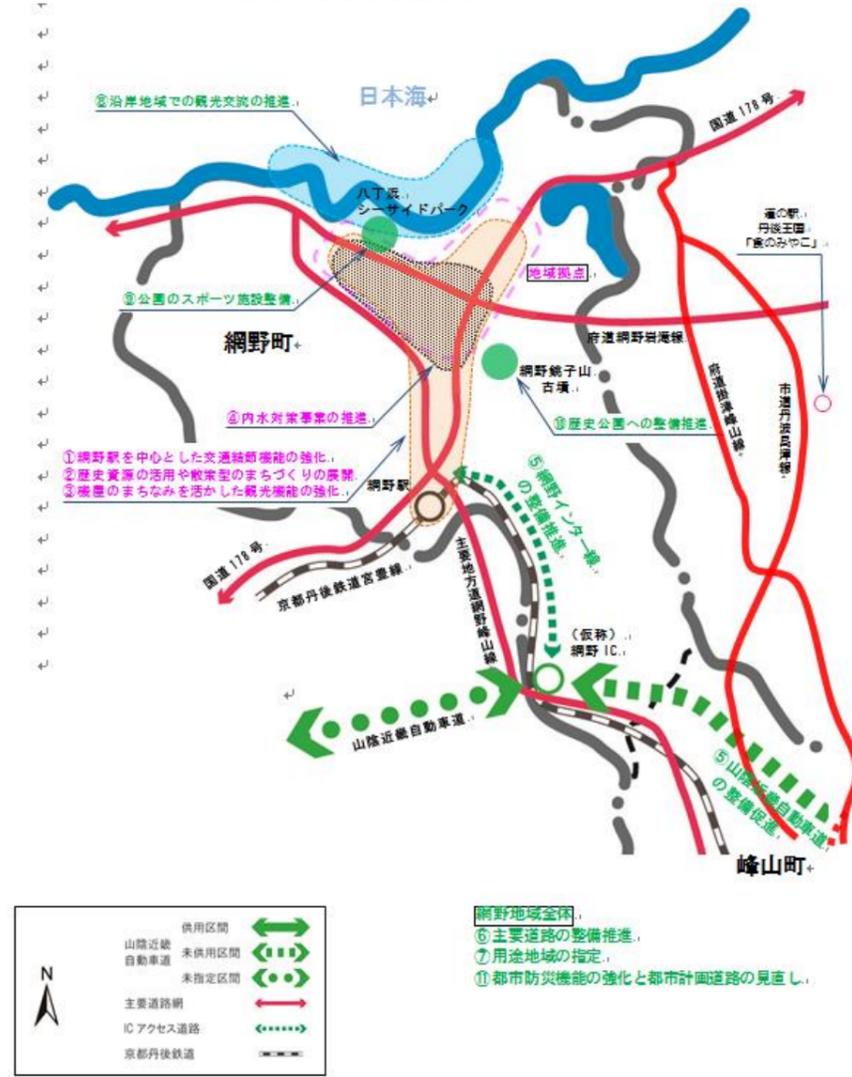
- ・国道 312 号と国道 482 号沿いにおける商業集積地において、新たな交通結節点についての検討、商業系用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、新都市拠点としてふさわしい都市機能の誘導と都市環境の整備を推進します。
- ・都市拠点への玄関口機能を有する山陰近畿自動車道の整備促進及び（仮称）大宮峰山 IC アクセス道路の整備を推進し、商業系用途地域での商業・交流機能の発展を図ります。
- ・峰山駅から市街地までを業務地として位置付け、行政機能の集約化を図り、地域振興機能の充実や、行政サービスの効率化と利便性の向上を推進します。また、市民の憩いやスポーツ活動、また、自然環境や歴史資源などを活かした個性ある都市公園の整備を図ります。
- ・市街地内の浸水防除の観点から、河川や水路の改修・整備を推進します。
- ・地域拠点と丹後町方面への交通移動性を向上させる、（仮称）峰山弥栄 IC アクセス道路の整備を推進し、地域の商業・交流活動の活性化を図ります。



2. 網野地域

都市整備方針

- ・既存市街地において、用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、網野駅を中心とした地域振興機能の充実や都市環境の整備を図るほか、駅と観光拠点を結ぶ公共交通体系の強化による滞在型観光の定着を促進します。また、商業系用途地域となる市街地周辺での商業・観光機能を向上させるため、広域交通網となる山陰近畿自動車道の事業促進及び IC アクセス道路の整備を推進します。
- ・市民の憩いやスポーツ活動、自然環境や歴史資源などを活かした個性ある都市公園の整備を図ります。
- ・市街地内の浸水防除の観点から、河川や水路の改修、ポンプ場・雨水貯留施設の整備を推進するほか、住民などによる雨水貯留施設の設置を促進します。
- ・景観法などを活用した景観誘導の取組を促進するとともに、京丹後らしい特色を活かした良好な都市景観の形成を推進します。また、嶋児神社周辺の旧来のまちなみを活かしたまちづくりと、歴史資源の保全・活用による景観形成を図ります。
- ・地域拠点への交通移動性を向上させる網野インター線の整備を推進し、地域の商業・交流活動の活性化を図ります。



3. 大宮地域

都市整備方針

- ・既存市街地において、用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、京丹後大宮駅を中心とした地域振興機能の充実や都市環境の整備の推進、また、市の南の玄関口としての情報発信拠点を整備します。
- ・広域交通網の玄関口となる山陰近畿自動車道京丹後大宮 IC が開通予定であることから、IC アクセス道路を活かした取り組みを推進し、工業系用途地域とする森本工業団地での産業機能の維持強化と企業誘致、また、商業系用途地域とする京丹後大宮駅周辺での商業・観光機能の向上に努めます。
- ・市民の憩いやスポーツ活動、また、自然環境や歴史資源などを活かした個性ある都市公園の整備を図ります。
- ・景観法などを活用した景観誘導の取組を促進するとともに、京丹後らしい特色を活かした良好な都市景観の形成を推進します。また、駅周辺の旧来のまちなみを活かしたまちづくりと、歴史資源の保全・活用による景観形成を図ります。

